

# 岩田国夫

Iwata Kunio

## 県政詳報

Prefectural administration detailed information

みなさまと共に安全で安心できるまちづくり



【21世紀】

2025年 新年号

[発行所] 岩田国夫後援会

〒632-0033 奈良県天理市勾田町253-6  
TEL.0743-63-6220 FAX.0743-63-6628



新年明けましておめでとうございます。天理市民の皆様におかれましては、健やかに令和7年の輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。旧年中は皆様に格別のご支援、ご指導を賜り、深く御礼申し上げます。

一昨年从去年にかけて第103代、104代、私としては3度目となる県議会議長を務めさせていただきました。新しい知事が就任されました。新しい知事が就任され県政の大きな転換期の中、特に県の防災拠点整備については、二元代表制の一翼を担う長として是は是、非は非、公平公正の立場で議論の深化に努めてまいりました。県民の生命、財産を守り、安心安全の取り組みを進めるために知事に対しては防災体制の早期強化を強く提言し、これを求めてきました。

さて、今年は4月から10月までの計184日間にかけて「大阪・

### 奈良県議会議員 岩田国夫

関西「万博」が開催されます。国内外から約2820万人の方々がお客の大阪の夢洲に会場されると試算されており、万博の経済波及効果を経済産業省は2兆9000億円と試算しています。

奈良県の魅力を世界に発信する絶好の機会として県は万博によるメリットを最大限享受するとともに、このメリットを一過性のものとせず、万博終了後も奈良の成長につなげることを目的に県・市町村・民間事業者の「オール奈良」の体制で「大阪・関西万博奈良県実行委員会」を設立し、多面的な取り組みを進めています。

この好機を、確かなものへとつなげ、ふるさと奈良をさらに発展させるべく、県政の発展にまい進していく所存です。皆様のご健勝とご多幸を心より祈念しつつ、私の新年のあいさつとさせていただきます。



# 3度目の議長退任

## 知事と対峙し、防災力向上を訴え

昨年まで私は、自身3度目となる県議会議長を務めさせていただきました。この間、新しく山下真知事が就任され、前県政に対する見直しなどに着手されました。

このうち五條市内に整備を予定していた広域防災拠点、奈良県のみならず紀伊半

島全体をカバーする構想でした。しかし山下知事が抜本的な見直しを行い、メガソーラー発電施設へと計画を転換されましたが、周辺地元からは大きな反対の声があり、県議会に対して要望書も提出されています。

奈良県の現状は、きちんと

した防災体制や組織、防災拠点ができていないのが現状であり、知事には132万人の県民の生命・財産を守ることが大事であることから、防災体制や組織をどうするのか、防災拠点はどのようなものがよいのかを早く構築していただきたいということを申し上げてきました。

また、学識経験者からなる諮問機関を作って、その答申を一日も早く受け、議会と協



議していろいろと知事に提言し、組織していただいた検討部会で、議論を深めていただいています。これらを受けて知事のお考えも当初よりは軟化してきているのではないかと感じているところです。

県議会議長として地方自治の振興に尽くしたとして、全国都道府県議会議長会から感謝状Ⅱ写真Ⅱを賜りました。今後も県民の皆様のため、ふるさと奈良の発展のために邁進してまいります。



### 自衛隊駐屯地

## 国に県内誘致を要望

### 県民の安心・安全、防災力向上へ

47都道府県で唯一、自衛隊陸上駐屯地がない奈良県は昨年、国に対して配置を求める要望書を提出しました。県議会、五條市の要望書3通を私が、木原稔防衛大臣（当時）に手渡し、奈良県の防災力強化への協力と理解を求めました。

災害をはじめとする有事の際、奈良県は、京都府の大久

保駐屯地から陸上自衛隊の派遣を受けています。南北に長く、南部は特に山間部が多い奈良の地勢的に災害現場での自衛隊の部隊展開には、相当の時間を要する現状の課題があります。

駐屯地の配置が実現すれば、これらの懸念が解消され、迅速な部隊展開になることに期待が高まり、県民の皆様の

安心・安全、県の防災力の向上につながります。

木原大臣には平成23年、県南部を襲った紀伊半島大水害が、「山津波」と言われる災害だったことを説明し、陸上自衛隊の方々が久保駐屯地から応援に来ていただいたことに、地元の方々の忘れ得ぬ感謝があるとお伝えしながら、奈良県だけが安心を与えていただけない現状、県民の思いをお伝えさせていただきました。

五條市の要望は県有地へ駐

屯地を求める内容になっています。現在、山下知事が大規模太陽光発電施設を計画している五條市の県有地に防衛省が駐屯地の整備を決めた場合について山下知事は「ここに駐屯地を設けるということになれば、（ソーラー発電の）計画を修正する可能性がある」と語り、国の動向次第では自身の計画に固執しない考えを示されました。





### 県議会代表質問

県議会12月定例会に私は、所属する会派「自由民主党・無所属の会」の代表質問に登壇し、防災体制の確保や、旧高田東高校跡地へ消防学校を設ける計画を五條市の防災拠点と連動した整備へと再考を求める提言、県のスポーツ拠点整備、安心安全の分婉をはじめとする周産期医療の体制構築について、県の考えをいただきました。

### 県の防災力強化へ

奈良県の防災体制には現時点で組織、拠点、どれをとっても満足なものはないというのが現状です。五條市の県有地への整備や方向性については、私が所属する「自由民主党・無所属の会」が県議会2月定例会で、知事独断で決めるのではなく、有識者を入れた検討をすべきと求め、「災害応急対策（防災拠点）検討部会」が立ち上がりました。



昨年11月には検討部会が「基本構想案」を取りまとめ、五條市の県有地へ消防の訓練学校を併設するメリットが指摘されています。

山下知事は、旧高田東高校跡地Ⅱ写真Ⅱへ消防学校を設けることで大和高田市と協定を締結していますが、今一度立ち止まり熟慮いただきたいと指摘しました。新たに建設するのであれば、理想形であるべきと主張しました。

また、私が視察した熊本県では「防災センター」という約40人の防災専門職員が集まる部署が設けられています。災害対策班、地域防災推進班、情報通信班が設けられ、平時から市町村と情報交換を行い、図上訓練や実地訓練を行うなど、有事に備えた組織になっていきます。奈良県でも防災に特化した専門組織を早急に設けるべきと指摘しまし



た。山下知事は「議員お述べのとおり、防災体制の充実強化をしていくべきと私も考えて

### 公的スポーツ施設の充実求める

全国各地の公的なスポーツ施設は、毎年持ち回りで開催されている国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会の開催を機に整備されていること



いる。職員の防災機能や災害発生時の情報分析力のようなスキルアップを図ることや、指揮命令系統の確立など、初動体制の強化が重要。このため、これまで危機担当部局のみで実施してきた警戒班の対象職員を広げ、今年度10月から20人増員し、訓練や研修の改善に取り組んでいる。組織体制の見直し、防災計やマニュアルの改善、人材育成など、防災体制の強化に取り組んでいく」と答弁がありました。

が多く見受けられます。

奈良県のスポーツ施設は、昭和59年に開催された「わかさ国体」に向けて整備された施設が多く、規模が小さく老朽化が進んでいます。大規模な改修は行われず、今日までほとんど手つかずの状態です。また施設数も全国的に見て少ない状況になっています。

奈良のスポーツ振興やそれに伴う青少年の教育、これに加えて防災拠点としての考え方を加えて施設整備に対して投資は必要です。県が新たに檀原市の医大新駅西側Ⅱ写真Ⅱを予定地として建設、整備する新アリーナについて、また県立檀原公苑の再整備につ

### 新西和医療センターで分娩実施を

西和地域は子育て世代が増加している地域ですが、分娩が可能な場所は斑鳩町内の民間クリニック診療所と、平群町の助産院のみとなっており、西和地域は出生数が分娩数を大幅に超えており、わざわざ他の地域に行って出産している不便な状況がうかがえます。

県は西和医療センターを新たにJR法隆寺駅南側Ⅱ写真Ⅱに移転建替える計画ですが、この新しい医療センターでは、分娩を含む周産期医療体制の一体的整備が、西和地域の7町から要望が出されています。

これまで知事は、産前産後を西和医療センターで、分娩は県総合医療センターで行うことができ、西和医療センターでは分娩しないとの考えを示されています。私は新しい

西和医療センターで分娩の実施による周産期医療の充実を強く知事に求めました。

山下知事は「県内で安心して分娩してもらう体制にするには、ハイリスク分娩に24時間体制で対応できるようにすることが県の責務と考えている。総合医療センターと県立医大附属病院でハイリスク分娩に対応するため周産期母子医療センターを設置し、運営している。医療従事者や資金が有限であることを考えれば、引き続き県の役割を果たすため現在の体制を安定的に維持していきたい」と答弁されました。



いて知事の考えを聞きました。山下知事は「令和13年の国スポ（国体）を絶好のチャンスととらえ、県のスポーツ振興がより一層進むようにしっかりと取り組んでいきたい。新アリーナについては、総合的に医大新駅西側がふさわしいと考えるに至り、これまで良好になかった新たなスポーツイベントや防災拠点として、地域の振興にもつながるものと確信している」と考えを述べられました。



### 昨年の総裁選投票開票

自民党総裁選の投票票へ衆院  
県2区選出の高市早苗議員が立  
候補され、私を含めた県内支援  
者で構成した応援部隊で「女性  
初の総裁を奈良から誕生させよ

## 女性初の総裁を奈良から――



## 心を共に、県内支持者らと応援

う」と県内で街頭演説を行いま  
した。

投票票当日の昨年9月27日に  
は、天理市嘉幡町の奈良プラザ  
ホテルに、高市議員の後援会や  
県内首長、議員ら約120人が  
集まり、「時代は『誰』を求める  
か」「初の女性総理へ」と書かれ  
たのぼりや高市議員の等身大パ  
ネルが設置された会場で、開票  
の様子を中継で見守りました。

1回目の開票結果は、高市議  
員が181票を獲得し、9人の  
候補者でトップを獲得。高市総  
理誕生」の実現が目の前まで迫  
り会場から大きな歓声があがり  
ました。しかし、決戦投票で惜  
しくも破れる結果になりました。

結果を受け「高市早苗議員を  
総理にする奈良の会」の安藤範  
明会長は「最後の最後まで、善  
戦していた。次回に向け今まで  
と同じように地方を周っていた  
だけ、党員獲得やさらなる支援  
を受けてもらいたい」と期待を  
述べ、後援会の菊池攻会長は「断  
腸の思い、非常に残念。もう一  
歩のところだったが、一生懸命  
臨まれたので、次の機会もある  
と思っている。これからも応援  
していく」と語りました。



### 新年ごあいさつ

岩田国夫後援会会長  
松原 敬治

新年あけましておめでとう  
ございます。旧年中は岩田国  
夫の県議会活動、また政治活  
動に対し格別のご高配を賜  
り、深く感謝申し上げます。

また昨年は激動の県政の一翼  
を担う議会で岩田が3度目の  
議長に就任させていただき、  
重ねて御礼申し上げます。

今年開催される「大阪・関  
西万博」で岩田は、奈良県の  
魅力を世界に発信するチャン  
スとして、県民や民間事業者  
らとの取り組みを進めていま  
す。県民の皆様のご意見やご  
要望、ご期待に応え、奈良の

さらなる発展へと日々精進し  
ているところです。

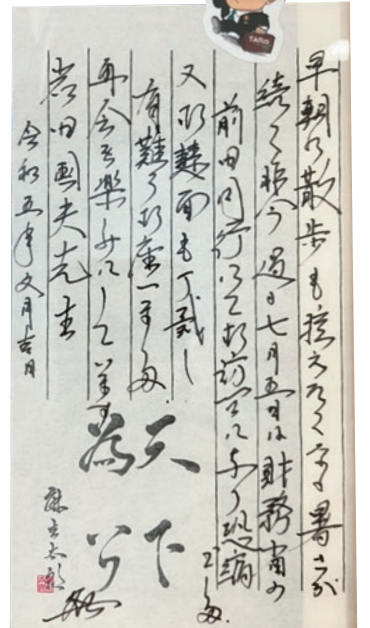
後援会も一丸となって県民  
の皆様の声なき声に耳を傾  
け、本人の議会活動を支えて  
いく所存です。旧年に倍しま  
して、ご支援、ご指導をよろ  
しくお願い申し上げます。



### 後援会ご案内

後援会のご入会と、皆さま方からのご意見ご要望をお待ちいたしております。ご支援の輪を広げるご協力をお願いいたします。

TEL:0743(63)6220、FAX:0743(63)6628  
http://iwata-kunio.com



昨夏、財務省へ陳情のため上京し、  
自民党の麻生太郎副総裁(当時)と  
面会しました。その後、「天下為公」  
の揮毫をしたためた直筆のお手紙を頂  
戴いたしました。